

千葉市感染症発生動向調査情報

2021年 第5週 (2/1-2/7) の発生は？

1 定点報告対象疾患(五類感染症)

報告のあった定点数	5週	4週	3週	2週
小児科	18	18	18	18
眼科	5	5	5	5
インフルエンザ*	28	28	28	28
基幹定点	1	1	1	1

上段:患者数

下段:定点当たりの患者数

「定点当たりの患者数」とは
報告患者数/報告定点数。

定点	感染症名	千葉市						千葉県
		注意報	2/1-2/7	1/25-1/31	1/18-1/24	1/11-1/17	1/25-1/31	
			5週	4週	3週	2週	4週	
小児科	RSウイルス感染症		0	0	0	0	0	
	咽頭結膜熱		1	1	0	1	26	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		7	4	4	3	72	
	感染性胃腸炎		26	29	26	19	260	
	水痘		1	2	0	1	28	
	手足口病		0	0	1	1	3	
	伝染性紅斑		0	0	1	1	0	
	突発性発しん		5	10	4	12	49	
	ヘルパンギーナ		0	0	0	0	1	
	流行性耳下腺炎		0	0	0	0	7	
インフル	インフルエンザ*(高病原性鳥インフルエンザを除く)		2	0	0	0	3	
眼科	急性出血性結膜炎		0	0	0	0	0	
	流行性角結膜炎		1	1	0	0	13	
基幹定点	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0	0	0	0	0	
	無菌性髄膜炎		0	0	0	0	0	
	マイコプラズマ肺炎		0	0	0	0	0	
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		0	0	0	0	0	
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		0	0	0	0	0	

★★:流行中 ★:やや流行中 ◎:増加 ○:やや増加 →:変化なし ↓:やや減少 ↓↓:減少

2 全数報告対象疾患(197件)

※新型コロナウイルス感染症195件は数のみ

病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
結核	男性	70歳代	病原体等の検出等	新型コロナウイルス感染症	男女	0歳代~100歳代	病原体遺伝子の検出等
アメーバ赤痢	男性	50歳代	病原体の検出	-	-	-	-

・第5週は、結核1件(12)、アメーバ赤痢1件(1)、新型コロナウイルス感染症195件(2236)の発生届があった。

※ ()内は2021年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

定点当たり報告数 第5週のコメント

調査対象の全ての感染症において、過去10年の同時期と比べると平均未満か発生報告がなかった。

■ トピック ■

<アメーバ赤痢>

第5週にアメーバ赤痢の発生届が1件ありました。

アメーバ赤痢とは、赤痢アメーバ(*Entamoeba histolytica*)の感染に起因する疾患で、主な症状は消化器症状ですが、それ以外の臓器にも病変を形成します。感染経路は、汚染された飲食物を食べることによるもの(経口感染)と性的接触によるもの(接触感染)があります。

病型は腸管アメーバ症と腸管外アメーバ症に大別されます。

腸管アメーバ症は下痢、粘血便、しぶり腹、鼓腸、排便時の下腹部痛、不快感などの症状を伴う慢性腸管感染症であり、典型的にはイチゴゼリー状の粘血便を排泄しますが、数日から数週間の間隔で悪くなったり良くなったりを繰り返すことが多くなります。

腸管外アメーバ症は、腸管部からアメーバが血流に乗って転移することによって発症しますが、肝膿瘍が最も高頻度にみられます。高熱、右上腹部の痛み(右季肋部痛)、吐き気、嘔吐、体重減少、寝汗、全身倦怠感などを伴います。

全国の発生届出数は2016年の1133件をピークに減少傾向にあり、第4週時点の発生届累積数は39件で、過去10年の同時期と比べると少なくなっています。都道府県別では、神奈川県(11件)、東京都(4件)、茨城県及び愛知県(共に3件)の順で多くなっています。千葉県は1件となっています。

千葉市では、2011年から2021年第5週までに57件の発生届がありました。2015年の9件をピークに以降は減少傾向にあり、2020年は1件の届出となっています。病型別では、腸管アメーバ症51件(89.5%)、腸管外アメーバ症5件(8.8%)、腸管及び腸管外アメーバ症1件(1.8%)となっています。男性52件(91.2%)、女性5件(8.8%)で、年齢階級別では、40歳代(33.3%:19件)、50歳代(31.6%:18件)、30歳代(19.3%:11件)の順に多くなっています。感染経路は、経口感染が36.8%(21件)、性的接触による感染が22.8%(13件)、不明が40.4%(23件)で、性的接触のうち、異性間での感染が76.9%(10件)、同性間での感染が15.4%(2件)、不明が7.7%(1件)となっています。

